

アジア・太平洋研究センター主催, 総合政策学部, 国際教養学部共催講演会
シリーズ講演会「アジア・太平洋研究センター開設 20 周年記念シリーズ
『変容する国際政治経済秩序のなかでのアジア太平洋地域を考える』」

日 時：2026 年 1 月 7 日 (水)

場 所：南山大学 Q 棟 4 階 Q416 教室

テーマ：Innovation 5.0 and its Implication to Sustainable Development Goals
(イノベーション 5.0 と SDGs の実現に向けた含意)

報告者：Prof. Seongbae Lim, (Ph.D., Emil C. E. Jurica Chaired Professor, Greehey
School of Business, St. Mary's University, U.S.A.)



1. 進化するイノベーション

近年、デジタル化・ネットワーク社会化の急速な進展によって、社会で実現されるイノベーションが、以下の「5つの段階」を経ながら進化を遂げつつあると考えられる。

Innovation 1.0：閉鎖型イノベーション … 主に企業内部の研究開発により実現。
自前主義で先行者利益が目指される

Innovation 2.0：協働型イノベーション … グローバル競争への対応として、戦略提携や合併など、他社との提携・協業を通じて行われる

Innovation 3.0：開放型イノベーション … 協力相手を大学や研究機関、コミュニティや個人まで広げ、世界全体を知識ネットワークとして活用する

Innovation 4.0：共創型イノベーション … 複数の主体がともに価値を創造する、あるいは、単独企業ではなくエコシステム全体で価値を産む

Innovation 5.0：人間中心の（生きた）イノベーション … 製品・技術の高さではなく、感情的価値やアイデンティティ・幸せが重要であり、環境に合わせて進化し、長期的な社会的な価値の実現を追求する

2. イノベーション 5.0 の展開

そして、Innovation 5 を実現してきた実例として、たとえば以下の 3 社が挙げられる。

Warby Parker：高品質メガネの分野で、自社の企画でオンライン直販を行い、ホーム試着という手法を導入し、低価格を実現。「1 本売れるごとに、別の 1 本を必要とされる地域にメガネを支援」という形で、社会貢献を実施。

Waka Waka Power：「ソーラー充電」「LED ライト」「モバイル充電」を 1 台に統合した携帯型デバイスを普及させ、「電気インフラがない地域向けのミニ発電インフラ」としての役割を果たしてきた。こちら、「1 台を買うと、別の 1 台を必要とされる地域に届ける」という社会貢献モデルの実施でも注目。

Coursera：世界中から、一流大学の授業を無料で受講することを可能とした。教育の民主化が進む一方、Google、IBM などが、企業で直接役立つスキル教育を行い、Professional Certificate を提供し、AI 時代に必要な「社会人の再教育機会」（Reskilling 市場）を提供する役割も果たす。

3. SDGs の実現に向けた含意

このように近年、イノベーションは、「技術を開発する活動」から「人間らしい未来をともに創る活動」へと進化しており、世界の経済格差やデジタル格差の縮小、新たな雇用機会の提供や高齢者の支援、持続可能で環境にやさしい経営の実現などで大きな役割を果たしつつある。すなわち 2030 年に向けて、国際社会が 2015 年以降に精力的に取り組みを進めてきた SDGs の実現に向けても、イノベーション 5.0 は、きわめて大きな可能性を有していると考えられる。

ただし、その実現に当たっては、現代の企業家・経営者に対して、「技術への深い理解」とともに、「グローバルな視点」、「社会的課題への感度」、「高い倫理観」の 3 者が併せて強く求められるところである。

（文責：林 尚志）